

社会貢献

秋田大学は、平成16年度の国立大学法人化を契機に、教育・研究・社会貢献を大学運営の重点事項として掲げ、公共的な知の拠点として大学開放事業を推進してきました。

本学の社会貢献活動の根底には、学生のみならず、生涯学習も教育の一環であり、社会の人々にも積極的に教育資源を提供していこうという思いが込められています。そのコンセプトを基に、様々な活動が展開されています。また、高校生やその保護者、あるいは小・中学生を対象とした企画も実施しています。

秋田大学の社会貢献事業

■公開講座

生涯学習の一環として、市民・県民の皆様どなたにでも本学の良質な教育資源を提供するために、毎年多種多様なテーマで公開講座を開講しています。



※平成24年度開講の講座は秋田大学HPをご覧ください。

■サテライト事業

秋田県内自治体や首都圏において、本学教員による講演会、子ども向け科学教室等を開催しています。本学と秋田県立大学、国際教養大学の3大学連携による市民向け講座も行っています。

■子ども見学デー

毎年夏休みに、小・中学生とその保護者の方を対象に「子ども見学デー」を実施しています。大学内の見学や研究室での実験、天体望遠鏡での観察など、様々な体験を通じて、大学に対する関心を高めてもらうことが目的です。



■天文台のイベント

教育文化学部天文台は、市民を対象に様々なイベントを開催しています。参加者が主体となり、天体観測・実習を行っています。



■子どもものづくり教室

ものづくり創造工学センターは、科学に直接触れ、体験することのできる教育として、地域の子どもたちを対象とした「ものづくり体験型授業」を展開しています。

■小・中学生等の大学訪問受け入れ

総合学習や職場訪問等の一環としての小・中学生の大学訪問や、PTA研修等を随時受け入れています。職員が学内を案内したり質問に答えたりしながら、秋田大学を紹介します。また、要望があれば研究室を訪問し教員や学生へインタビューすることも可能です。



■自治体との連携

秋田大学が持つ教育・研究資源の提供と、地域活性化の促進を目的に、秋田県内自治体と連携協定を締結しています。「地域に根ざした大学」を目指し、公開講座の開催や学生の地域交流等による社会貢献を行っています。



平成24年5月1日現在、秋田県を含む12の自治体と連携協定を締結しています。

地域防災

1. 秋田県の特徴を考慮した地域防災のあり方に関する調査研究

①秋田県内の地震について基礎的研究を行っています。

②秋田県沿岸部における将来的な津波の発生を

予測することを目的として、過去に発生した津波の分布範囲や履歴を調査・分析します。

③秋田県内に甚大な被害をもたらすと考えられる「内陸直下型地震」を引き起こす活断層の活動性や分布を明らかにすることを目的として調査・研究します。



2. 防災について地域で活動できる人材の育成

①地震が発生した際に地域で活動できる人材を育成するために、自治体・自主防災組織・町内会等あらゆる団体に対して、防災講演を実施します。

②県内の小中学生に対し、出前授業により防災教育を実施します。



3. 県および市町村への防災施策に関する指導助言

①秋田県の地震被害の想定並びに地震防災対策を推進するために必要な指導・助言を行います。

②県内自治体とのヒアリングにより、自治体が考える防災・減災対策について、地域の特性を考慮しながら指導・助言を行います。

地域との架け橋へ

地域創生センターは「地域再生のための知の創生の見地から、地域と連携し、地域の活性化、教育活動、住民活動への助言や地域の防災等に関する研究と支援等を行い、地域の発展及び安全・安心な地域社会の形成に寄与する」ことを目的に平成23年4月1日付で設立されました。秋田大学が実施する「地域との連携・地域への貢献」活動について「地域協働部

門」の活動を明確にすることで、地域の持続可能な発展について寄与していきます。また、平成23年9月1日には「地域防災部門」を開設し、地震災害について調査・研究し、地域の防災対策に取り組んでいきます。地域創生センターは、地域が抱える問題を秋田大学の課題ととらえ、地域の方々と一緒に課題解決に取り組んでいきます。

